

Tibetan Plateau during Summer	49-52
Yousuke YAMASHITA, H. L. TANAKA and Masaaki TAKAHASHI : Observational Analysis of the Local Structure of the Wave Activity Flux Associated with Maintenances of the Arctic Oscillation Index	53-56
Colin MURRAY and John WALSH : A Model Ensemble Assessment of the Enhancement of Arctic Warming by Sea Ice Retreat	57-60
Masaru INATSU and Masahide KIMOTO : Two Types of Interannual Variability of the Mid-winter Storm-tracks and their Relationship to Global Warming	61-64
H. L. TANAKA and Koji TERASAKI : Energy Spectrum and Energy Flow of the Arctic Oscillation in the Phase Speed Domain.....	65-68
Shigenori OTSUKA and Shigeo YODEN : Numerical Experiments on the Layered Structures in the Mid-Troposphere over the Equatorial Pacific	69-72

「SOLA」編集委員会からのお知らせ

日本気象学会では、「気象集誌」と並んで、より速報性と流通性を重視した英文レター誌「SOLA」を2005年1月に創刊しました。皆様のご協力により順調に投稿論文の編集を積み重ね、本年7月の時点で計60編の論文の投稿を受付けております。その内訳は受理30編(登載済み18編、登載待ち12編)、不採用9編、取り下げ2編、審査中19編となっています。J-STAGEのアクセス統計によると、2005年1月は創刊ということもあり4,955件、2月以降6月まではそれぞれ3,734件、2,987件、4,433件、3,414件、3,835件のアクセスがありました。創刊時のラッシュは過ぎたようですが、まずは順調な滑り出しと言えます。

SOLA編集委員会では、掲載論文を広く学会員に周知するため、掲載論文リストを随時、「天気」および「気象集誌」に掲載していただく事にしました。SOLAの

論文は受理されたものから随時掲載されるため、「天気」では掲載順にそのリストを掲載する予定です。また、「気象集誌」では学会案内のコラムで、「天気」からの案内に続いてリストを掲載する予定です。

今後は、論文の投稿受付から査読審査、そして掲載までの一連の編集作業を、J-STAGEが提供するソフト・ハード環境を利用して行えるように編集体制を整備してゆく予定です。

会員の皆様には、日本気象学会の新規事業としての英文レター誌「SOLA」が、一日も早く国際学術雑誌として広く世界に認知されますよう、よろしくご支援をお願いいたします。

SOLA : <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/sola/>

「SOLA」編集委員長
担当理事 田中 博